

令和5年度 第1回大口町健康づくり推進協議会 議事録

令和5年6月30日（金）  
健康文化センター1階多目的室  
13時30分～14時50分

発言者	内容
事務局	出席者の確認
会長	あいさつ
事務局	委嘱の交付（委嘱の期間は令和7年3月31日までの2年）
出席者全員	自己紹介
事務局	大口町健康づくり推進協議会設置要綱の説明 委員長、副委員長の選出説明
	委員長及び副委員長の選出
	委員長の決定
	副委員長の決定
事務局	資料の確認
委員長	それでは、議題（1）令和4年度保健事業の報告について、事務局より説明を。
事務局	以下の資料により説明 ・資料1 令和4年度の保健センター事業 ・資料2 令和4年度保健活動のまとめ
委員長	事務局からの説明が終わりました。何か質問等ありましたらお願いします。
	質問なし
委員長	議題（2）令和5年度事業計画について事務局より説明を。
事務局	以下の資料により説明 ・資料3 令和5年度保健センター事業
委員長	事務局からの説明が終わりました。何か質問等ありましたらお願いします。
	質問なし
委員長	議題（3）健康おおぐち21第二次計画推進について事務局より説明を。
事務局	以下の資料により説明 ・資料4 健康おおぐち21計画ダイジェスト版 ・資料5 健康おおぐち21（第二次計画）中間評価からの概要
委員長	事務局からの説明が終わりました。何か質問等ありましたらお願いします。

委員	質問 第三次計画策定スケジュールについて確認したい。
事務局	7月中に委員の皆様アンケート項目についてご意見をいただき、8月に健康づくり推進協議会を書面にて開催し、9月からアンケートを実施したいと考えております。その後、集計、分析をしまして令和6年2月の健康づくり推進協議会にてアンケート結果をご報告させていただき、第三次計画策定へ向けて検討してまいります。
委員長	事務局の説明が終わりました。ただいま、説明がありましたように今年度は第二次計画を推進する最終年度となり、来年度の第三次計画策定に向けて計画を評価していくこととなります。 そのうえで、新型コロナウイルス感染症の影響が、大変大きく委員の皆さんにとっても、様々なことを感じながら過ごしてきた3年間であったと思います。そこで、第二次計画を推進し評価するうえで、委員の皆様の率直なご意見を聞かせていただきたいと思っていますので、よろしくお願いします。
江南保健所	愛知県の第三次計画は、現在、最終評価、8～9月に公開で健康推進協議会を実施し、2024年3月に記者発表の予定となっている。 コロナの第6波のピーク時には管内三市二町の医療機関との連携が難しいと感じた。春日井保健所とともに尾張北部医療圏で新興感染症についてどのように取り組んでいくとよいか考えていく。
住民団体代表	住民団体の活動を支援する団体。コロナ禍では、住民活動全体がストップした状態が続いた。活動することが当たり前だった活動がストップしたことで3年間で住民団体の活発さと健康状態の関連が密接にあるということが肌を通して分かりました。健康面の中に活動をすることの意義を組み込んでいただきたい。
医師代表	この三年間こういう活動にとっては暗黒の三年間で、今では普通の風邪のひどいものと捉えられているが当時、死に至る病気と捉えられ、医院を受診せず、薬だけほしいというくらいお年寄りにとって恐ろしい病気を外に出られない方もいらっしゃった。外に出られないうちにフレイル状態で半分寝たきりになられた方が大勢いらっしゃると思います。現在、最低限、気を付けながら活動をしている状態。計画はぜひ進めていただきたい。
全国健康保険協会	会社にお勤めの方の保険を担っている。高齢化に向けて医療費抑制のため、いかに健康づくりに取り組むかを考え取り組んでいる。今まで愛知県の医療費は全国平均を下回っていたが、初めて全国平均を超えた。いかに皆さんに健康づくりに意識していただくかが重要と考えている。健康保健委員のいる会社とない会社で差が出ている。大口町においても健康推進員がいると聞いている。住民の皆様をいかに巻き込んでやっているか勉強させていただきたい。
NPO 団体代表	コロナ禍は全く活動をしていない期間もあった。子供に接触しないことを求め

	<p>るのは難しいので活動ができなかったが、再開した際、皆様からは「待ってました」という声を聴いている。施設利用者数に関してはまだ戻っていない状況。「なくてもいいもの」の中に体を動かすことが含まれているとすると対策をしなければいけないと思っている。働き世代の方に運動を促すことができたらと考えており、重点を置いて計画して頂ければと思います。</p>
識見を有する者	<p>体力測定をずっとやっているということですが、コロナ禍の2年間は体力測定ができなかったということか質問したい。</p>
事務局	<p>コロナ禍では2万人体力測定という形では実施できなかったが、各種介護予防教室の効果測定のための簡易な体力測定は細々と取り組んでいた。住民全体に向けてはできなかったということです。</p>
識見を有する者	<p>他市町の行政の事業にも関わらせていただいているが、ちょっと立ちましようかと体力チェックをすると、体力の低下が目まぐるしいのを目前で見てしまった。体力の衰えを体感することが何よりで自分事にしないといけない。いかに町民のみなさんに受けていただけるか、場の設定が重要と考える。住民健診の中に組み込み、ついでにできてしまうという仕組みができるとよいと考えます。どこの市町もまだ取り組んでいないと思います。</p> <p>機械を使わないどこでもできる簡易チェックにするとよいと考えているのでぜひ一緒にその辺りをやっていければと思います。</p>
戸籍保険課	<p>国保加入者や後期高齢者の健診を行っている。コロナ禍では受診率が下がったが戻りつつある。今年度、特定健診実施計画やデータヘルス計画の策定をやっているので一緒に携わって行ければと思います。</p>
学校教育課	<p>学校現場でもコロナが発達段階、成長段階に非常に大きな影響を及ぼしたと感じています。マスクをするということは不用意な会話をしない、と当初は言われていた。それに伴い、通常であれば、みんなで会話をしながら食べていたのがみんな前を向いて黙って食べる、運動会が中止になるなど、子ども同士の関わり、先生との関わりが少なくなりました。今は戻りつつあるが、今もマスクをしている子供たちも多く、影響は大きいと感じている。ここ数年は不登校の児童も増加しており、心配している。コロナの影響だったのかは今後の動向で分かってくると思うが多少なりとも影響はあると思います。</p> <p>健康おおぐち21計画の中にやはり「人との関わり」というところで考えますと心の影響が大きい。人との関わり大切さを計画の中に含めて頂きたい。</p>
こども課	<p>機構改革で今年から母子保健が加わった。出生率が下がり、昨年200人を下回った。動向を見ていきたい。</p>
老人クラブ連合会	<p>外坪の高齢化率が1位で驚いた。コロナ禍で元気な人とそうでない人の差が開いたと感じている。近所の方が認知症になり驚いたが近所の皆さんと見守っていいこうねと話しています。栄養について「野菜から食べよう」とあるが、愛知</p>

	<p>県は野菜の摂取量が少ないという課題があり、野菜を食べる大切さを強調して          どのような野菜を食べたらいいかを周知してほしい。</p> <p>健康推進員を4年間やらせていただいたが、健康推進員OBは、任期が終わると活動に出てこない。地域に関わっている人はいない。せっかく勉強してきたものをOBがいろんなところに関わり広めていくことはできないかと考えている。単年でその年の活動で終わるのではなく、全体で活動できる形はないかと思っています。</p>
代表健康推進員 連絡会	<p>4月に委嘱を受けて勉強中。様々な活動をして健康寿命を上げるのが目標。各地区活動が始まるが「健康チャレンジ」ということで各自目標を立てて取り組んでいただくよう景品を準備している。問題なのは、グランドゴルフもウォーキングも顔を見る人は同じ。動機づけに課題を感じている。</p>
地域自治組織	<p>健康福祉部会の部長を担っている。スマホ教室、認知症勉強会、ポールウォーキング、健康体操などの活動を行っている。地域協力員という部会員が10名おり、話し合っ進めている。今おっしゃられたように特定の人が活動しているので輪を広げていきたいと思っているがこれが難しい。ちょっと広げられたかなというくらいです。</p>
尾北薬剤師会	<p>データヘルス計画などレセプトデータや健診情報の活用を考えていただければと思います。妊婦の受動喫煙や学童の喫煙、妊婦の飲酒、一般の医薬品のオーバードーズ問題（薬物乱用防止問題）なども重要になってくると考えています。健康計画を立てる上で食事は重要と考えています。高齢者の患者様を相手にすると食べたくても食べられない、もうちょっと体重を増やしていただきたい、フレイルも問題と思っている。メタボからフレイル対策にスイッチするタイミングも含めて考えていただければと思います。</p>
尾北歯科医師会	<p>コロナ禍では歯科受診率も下がり、中断したままの人もいらっしゃる。国民皆健診を目指している。歯周病と糖尿病、誤嚥性肺炎などを周知させていただき、いつまでもおいしく食べられるよう支援している。</p>
尾北医師会	<p>計画の4年目で中間評価、見直しがされたとなっています。コロナ禍で見直ししたが達成されたかわかりませんが、楽しみに関心をもっています。「健康で笑顔の大口ずっと元気みんな元気」とは、健康で長生きという意味だと思っている。ずっと元気というところが、「元気を支えるまちづくり」を「健康長寿を支えるまちづくり」でよいのかなと健康で長生きするために取り組んでいるので、「健康長寿」という言葉を入れていただきたい。</p>
委員長	<p>初めての会議で、みなさんどんな思いでいらっしゃるかをお聞きすることができた。「フレイル（オーラルフレイル）」、「認知症」、「野菜」、大口町が目指している「健康寿命が一番」で「健康長寿」、「人との繋がり」という言葉が出てきました。大事にしてきている部分をより良い方向に向けていくというエ</p>

	<p>ールとヒントをもらったと思っています。健康の輪を広げていくために「メンバーが固定されているので様々なお力を頂きながらコラボで集まって大口町にお力をかしていただき、健康の輪が広がるヘルスの向上する町になっていければと思います。</p>
事務局	<p>先生ありがとうございました。皆様ありがとうございました。コロナ禍で色々な思いで活動されていること、計画に真摯に取り組んでいただいて大きな後ろ盾を頂いた。皆様とコラボしながら今年度もいろいろな施策に取り組んでいきたい。今後ともどうぞよろしくお願いたします。</p> <p>7月にアンケート項目の意見をいただきたく、お手紙を送らせていただきます。</p> <p>8月に書面にて会議をさせていただき、2月頃集計結果をまとめ、次期計画に向けて対面の会議を持ちたいと思っております。長時間にわたりありがとうございました。</p>